

環境、安全と健康の総合アセスメント

当社では、「レスポンシブル・ケア基本方針」に沿った当社独自の「環境、安全と健康の総合アセスメント」(以下、総合アセスメント)を1995年から実施しています。

総合アセスメントは、企画、研究開発から生産、消費、廃棄など全事業活動における新規計画を対象に、多種多様なリスクを事前に評価して環境・安全面等で万全を期するための仕組みで、企業経営におけるリスクマネジメントの面からも不可欠です。

2014年度は、製品安全アセスメント強化を目的に、欠陥製品の流出防止や製品事故の発生・拡大防止を切り口とした「製品クライシスアセスメント」も開始しました。

重要度ランクの高い新規計画を審議する本社総合アセスメントは、本制度導入以来累計640件近くとなりました。また、当社グループ事業のグローバル展開に合わせ、2010年より海外生産拠点においても運用を開始しています。

総合アセスメント項目

総合アセスメント規則

法規対応	法適合性を評価
環境保全	環境関係法規に基づき評価
設備安全	爆発・火災等の危険性を評価 他項目の評価結果と該当設備の適合性を評価
労働安全衛生	労働災害防止の観点からの適合性を評価
物流安全	物流の安全性を評価
化学物質安全	取り扱う全化学物質の危険有害性を評価
製品安全	当社製品による健康被害等が起こり得る危険性を評価
製造委託・購入販売時の安全	環境、安全と健康上の問題発生を防止する観点で評価

新規計画の内容

- 新規製品の上市
- 新規事業
- 設備の新設、増設、変更
- 製造にかかわる事項(原材料・合成方法・プロセスなど)の変更
- 物流・販売先・販売用途の新規、変更
- 土地・設備の取得、譲渡
- 製造委託・購入販売の新規、変更
- 廃棄物処理の新規、変更